

「東京水道経営プラン2013」の 策定にあたって

東京都水道局では、平成25年度から平成27年度までを計画期間とする「東京水道経営プラン2013」を策定しました。

このプランは、外部の有識者からなる東京都水道事業経営問題研究会での幅広い観点からの議論などを踏まえ、今後3年間に取り組んでいく施策の事業計画と財政計画を広く明らかにしたものです。

東京の水道は、明治31年に近代水道として通水を開始して以来、最も重要な都市基盤施設として、都民生活と首都東京の都市活動を支えてきました。

しかしながら、安全でおいしい水へのお客さまニーズが高まっていること、高度経済成長期に整備した施設の老朽化が進んでいることに加え、東日本大震災を契機として、想定される大規模地震への対応などの課題も生じています。

こうしたなか、これらの課題に的確に対応するとともに、安全でおいしい水が蛇口から飲めること、湯水や地震の時にも水道が使えることなど、お客さまに喜んでいただける水道を実現していきます。

また、地震の発生や水質事故など「将来起こり得るリスク」に十分対応できる新たな安全度を備えた水道システムを構築するとともに、多様化、高度化するお客さまニーズをより一層反映した質の高いサービスを展開していきます。

東京都水道局は、50年、100年先の将来を見据えた計画的な施設更新を進めることにより、現在のお客さまだけでなく、将来のお客さまにも責任を果たす水道を目指していきます。

